

2020年度 横浜国立大学校友会事業計画書

1. 入学時関連事業（新入生向け）【4, 080千円】

入学直後の学生が大学生活にスムーズに溶け込み、有意義な大学生活を送るための支援を行うため、以下の事業を実施・支援する。

○まなび座

- ・キャリア教育支援の一環として、1年生（前期）に社会人基礎力養成講座「まなび座プロジェクト」（主体的に考え取り組む姿勢を育成）。卒業生講師への謝金、交通費を支援
市村光之教授（高大接続・全学教育推進センター）が担当

○学事暦カレンダーの発行（配布用）

- ・新入会員及び在学生向けに学事暦カレンダーを作成、送付（おもに保護者向け）

○ノベルティー

- ・2020年4月入学の新規会費納入者用記念品（バインダー）作成経費

○新入生懇親横浜港クルーズ乗船会

- ・校友会・各同窓会合同企画イベントにおける校友会負担分

○新入生歓迎会

- ・4月22日（水）18:00 開催
- ・第一食堂（れんが館）で軽食およびソフトドリンクでの会を企画
目的：新会員に校友会活動を紹介するとともに、学部を越えたヨコの交流および学生生活をスムーズに送ることができるきっかけ作りを学生幹事会が主体となって行う。

○入会促進のためのパンフレット

- ・大学からの入学手続き案内に校友会・同窓会案内パンフレットなど各同窓会案内と同封
*会費納入者には「会費納入礼状+会員証」送付

○新入生会費徴収事務手数料、入学手続き郵送料

- ・平成30年度一般入試の合格者から、入学時手続きと一緒に諸経費（学研災・TOFEL・校友会費・同窓会費）を納入する方式に改めた。校友会負担郵送料及び会員データ処理費用。

2. 広報活動事業【1, 850千円】

校友会活動を広く広報するために以下の事業を実施する。

○会報誌の発行

- ・会報誌第6号を発行し、校友会の活動や横浜国立大学の動向などについて情報提供を行う。
また、活躍している卒業生や在校生の紹介をとおして会員相互の絆を深める。

○ホームページ運営

- ・随時情報発信を行い、校友会の認知、関心を高めていく。2020年度更新予定。

○業務用情報基盤：G Suite Basic 25 ライセンス（12ヶ月分）およびドメイン維持費

○学内・学外広報活動

- ・校友会の活動を広く知ってもらうための活動。

3. 学生活動の支援事業【8,420千円】

全学生を対象に、キャリア教育支援や大学生活を彩る様々な活動を支援し、校友会の存在意義や同窓生とのネットワーク構築の大切さを実感して貰うため、以下の事業を実施・支援する。

○学生による地域課題実習支援

- ・学生による地域と連携した課題解決プロジェクトを支援 活動費
- ・担当：志村真紀准教授（地域実践教育研究センター）

○共催講演会

- ・5学部と校友会が共催し学外から講師を招き講演会を実施（教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部）
- ・テーマ、講師は学部が主体で検討、講師謝金、講演録作成経費の支援

○グローバル化と日本人（異文化中心）

- ・キャリア教育支援の一環として、全学年を対象に実施（2単位）。講師謝金、交通費を支援
- ・担当：市村光之教授（高大接続・全学教育推進センター）

○グローバルビジネス実践論（ビジネス中心）

- ・キャリア教育の一環として開設される、全学部の2年生以上を対象に実施（2単位）。講師謝金、交通費を支援
- ・各種業種の海外勤務者からの体験談をベースに、国の制度や国民性等も含めて実践的な知識を提供。一部、英語の授業も取り入れる。

○インターナショナルウィーク

- ・本学の学生に海外留学に興味を持ってもらい、派遣者数を増やすための取り組み。国際戦略推進機構が中心になって開催する留学体験者や本学に交換留学してきている学生からの体験談等のイベント・交流会を支援

○アプリコンテスト

- ・校友会学生幹事が中心となり実施
- ・学生からアプリの公募を行い、応募の中から副賞（賞金）を授与する。
- ・コンテスト賞金、会場費、審査委員への謝金、運営費等を支援

○派遣留学生支援

- ・借家住まいの学生の要望に基づき、留学中の家財保管場所（学内スペース）代として1/2を支援

○海外教育交流活動支援

- ・海外教育研究交流活動拠点（ベトナム）へのティーチング・アシスタント（TA）学生の渡航費を支援 6名

○海外インターンシップ支援

- ・卒業生ネットワークを活用し、中国・上海、ベトナム・ハノイ、ホーチミン等で卒業生等が勤務する企業での海外インターンシップへの参加を支援。10名

○スポーツ支援プロジェクト

- ・成績優秀な部に対し遠征費、物品等の支援及びスポーツ関連施設整備費を支援する。

○部活動激励会

- ・4月 日（ ）18：00開催。
- ・第一食堂（れんが館）で軽食およびソフトドリンクでの激励会を開催。

○就職支援活動

- ・大学、校友会、各同窓会共催で模擬面接会を開催。
- ・会場：教育文化ホール 面接官：約60名 参加人員：100名を予定

○「YNU横浜経営者の会」連携講座の開設

- ・YNU横浜経営者の会構成員を講師とする連携講座

○大学祭支援

- ・大学祭実行委員会に対する支援

○学生用情報伝達モニターの維持・管理

- ・2019年度に整備した機器6台の維持管理費用

4. 全会員対象の事業【2,660千円】

YNU同窓生・在学生の横断的活動を支援し、オールYNUとしての一体感を増していくことを目指し、以下の事業を実施・支援する。

○横国Day事業

- ・H29年度から大学主催。校友会・同窓会は共催で開催。校友会では実施経費を支援

○学生・OB／OGの交流会

- ・年1回の開催を予定。
- ・在学生（留学生を含む）と若手社会人との情報交換会を実施。就職活動、卒業後の活動等、生きた声を聞ける機会を提供し、相互交流を図る。

○美術館・博物館キャンパスメンバーズ

- ・平成30年度から大学の依頼に基づき校友会が支援

○観月の会

- ・海外からの研究者、留学生と在学生、教職員等との交流会

○学生幹事会支援

- ・主催事業の運営費、活動費を支援。

5. 大学支援事業【6,480千円】

○YNU横浜経営者の会

神奈川を中心とした経営基盤を持つ企業の経営者とYNU学長、校友会会長等による勉強会（年2回開催）

- ・YNUにおける各分野の最先端の研究成果の提供
- ・学生の就職支援活動としての模擬面接会面接官等の派遣を受ける。

○寄附特集号の作成

- ・「横国の未来 皆で応援！！」（仮称）第3号

- ・卒業生から好評。寄附金集めの一助となっている。

○横浜国立大学基金への寄附（H30年から3年間継続。今年度が最終年度。）

6. 管理費【6,600千円】

校友会活動の運営のために必要な経費

○事務局諸経費

- ・人件費、会議費、通信費、消耗品費、職員交通費、各種手数料、委員会開催経費等

○会員管理費

- ・会員管理システム（アルムネットシステム）ランニング費用

7. 予備費【500千円】

以上